

検像システム要求仕様書

1	検像システム		
1	1	システム機能概要	
1	1	1	システム起動時や起動中にログインユーザ (ID / パスワード) の認証および変更ができる機能を有すること。また管理者がユーザの登録や削除、ユーザ権限の付加を行うことが可能なこと。さらにの認証および変更についてはON/OFFの設定が可能なこと。
1	1	2	ユーザ権限によって使用できる機能を制限する機能を有すること。
1	1	3	DICOM Storage Service ClassのSCP機能を有し、DICOMの通信プロトコルにしたがって転送される画像を保存・管理する機能を有すること。
1	1	4	シリーズ一覧ではシリーズ中の画像をサムネイルにて表示する機能を有すること。表示する画像をサムネイルについては、シリーズ中の一枚を表示する機能を有すること。
1	1	5	頻繁に使用する検索条件を、簡易検索としてプリセット機能を有すること。
1	1	6	検査一覧では患者ID、Accession Number、モダリティ種別、検査日、画像発生源AEタイトルの項目にて検索する機能を有すること。
1	1	7	受信した画像が保存されているドライブの使用容量、全容量、空き容量を保守メンテナンスレポートにて確認する事が可能なこと。
1	1	8	CR画像に対して、処理前画像 (PrivateTag等)、および処理済み画像の双方を受信できる機能を有すること。
1	1	9	各シリーズに対する送信情報の一覧表示 (成功、失敗、送信待ち) 機能を有すること。
1	1	10	画像送信時に同時に送信可能なシリーズ数を設定できる機能を有すること。
1	1	11	自動送信時に受信した画像のTag情報を利用し、複数のサーバに分配機能を有すること。
1	1	12	自動/手動送信の切り替えおよび自動送信時の画像滞留時間をユーザが変更できる機能を有すること。
1	1	13	画像送信に失敗した場合に、エラー表示後にリトライ機能を有すること。
1	1	14	受信した画像を修正したかどうかおよび検像したかどうかを一覧できる機能を有すること。
1	1	15	画像送信時に、検像システム自身が持つAEタイトル情報で送信する、もしくは画像発生源のAEタイトル情報を利用して送信する、のどちらかをあらかじめ選択する機能を有すること。
1	1	16	受信した画像のうち検像中の画像については送信を行えない機能を有すること。
1	1	17	画像を自動送信する/しないを画像発生源のAEタイトル単位で指定できる機能を有すること。
1	1	18	受信した画像を検査、シリーズ、画像単位で削除する機能を有すること。
1	1	19	送信が成功した画像を自動で削除する機能を有すること。
1	1	20	ユーザ指定により自動削除対象となる画像を削除対象としない (自動削除プロテクト) 機能を有すること。
1	1	21	タグ情報を利用してシリーズおよび画像の並び順を自動で修正する機能を有すること。
1	1	22	タグ情報を利用してシリーズを自動的に分割する機能を有すること。
1	1	23	シリーズ番号再発番と同時にイメージ番号を再発番する機能を有すること。
1	1	24	シリーズ画像を分割・結合する機能を有すること。
1	1	25	シリーズ内の画像の昇順/降順指定により、画像の並び順 (イメージ番号) を変更する機能を有すること。
1	1	26	画像サムネイルのドラッグ&ドロップにより、画像の並び順 (イメージ番号) を変更する機能を有すること。
1	1	27	患者名、患者ID、性別など、装置側で入力間違いのあったDICOMヘッダー情報を自動および手動で修正する機能を有すること。
1	1	28	DICOM Modality Worklist Service ClassのSCU機能を有し、MWM通信にて取得した情報を利用して手動および自動でDICOMヘッダー情報を修正する機能を有すること。
1	1	29	画像修正が行われた際、修正内容は全てログに記載されること。
1	1	30	ローカルディスク上にあるJPEG、BMP画像をDICOM画像に変換して取り込む機能を有すること。 また受信した画像をDICOM画像、もしくはJPEG、BMP画像に変換して出力する機能を有すること。
1	1	31	受信した画像を汎用画像 (JPEG、BMPなど) ファイルで出力する機能を有すること。
1	1	32	DICOM Print Service ClassのSCU機能を有し、受信した画像をプリントすることが可能なこと。
1	2	ハードウェア仕様	
1	2	1	検像端末 (2式) を調達すること。端末のオペレーティングシステムはWindowsで動作するものとする。
1	2	2	ディスプレイは、2Mカラー1面仕様で推奨解像度が1200×1600、輝度 (標準値) が500cd/m2以上であること。
1	2	3	検像端末専用の無停電電源装置 (UPS) を付加すること。
1	3	その他	
1	3	1	現行でネットワーク接続済みの検査装置については、踏襲して接続を行うこと。また接続に関わる検査装置ベンダー側に発生する費用も本調達に含めること。